

明日はこれを読もう

江戸広しといえども、これ程の女はおるまい

二見時代小説文庫

時代小説

沖田正午
えん ま
閻魔の女房
北町影同心 1



巽真之介は北町奉行所きっての凄腕同心で「閻魔の使い」とも呼ばれていた。その鮮やかな十手捌きと悪人に対するのとは全く違う江戸町民への優しい眼差しに、惚れた旗本の娘音乃。女だてらに剣術や柔術にも秀でた男勝りの娘だったが、結婚してからは内助の功を尽くしていたが…!?

二見書房